

秋の企画展「北斎と馬琴」によせて

文学部教授 板坂則子

向井信夫文庫は、故向井信夫氏蒐集の和本約4,000作のコレクションで、2009年に専修大学図書館に移譲されました。



向井文庫も収蔵している本館特別書庫

そのほとんどは戯作と総称される江戸時代後期小説です。戯作は、「通」とは何かを追求する洒落本、「笑い」を主体とする滑稽本、

女性を読者ターゲットとする「人情本」など、現代と似通う多くのジャンルを持ちますが、その中でも突出しているのは、絵と文章が一つのページに共存していて現代のマンガの祖ともいえる草双紙、そして文章主体の伝奇小説である読本です。11月1日から生田で、25日から神田で開催される展示は、第22回国際浮世絵学会秋季大会に合わせて行われ、この読本の中から曲亭馬琴が本文を書き、葛飾北斎が挿絵を担当した作を中心に約20作品、更に関係する歌川国芳の勇壮、精緻な浮世絵を並べます。

馬琴、北斎は共に江戸時代を代表する作者と浮世絵師ですが、2017年は二人が大きく取り上げられた年でもあります。

『南総里見八犬伝』を代表作とする戯作者の馬琴は1767年に深川で生まれ、生誕250年を迎えた今年、多くの展示会や講演会が開かれました。その作品や生き様が現代でも多くの舞

台やマンガ、アニメで取り上げられています。

北斎はその代表作「富嶽三十六景 神奈川沖浪裏」(The Great Wave) が世界で最も有名な絵として知られますが、今年は5月～8月に大英博物館(イギリス)で「Hokusai beyond the Great Wave」展が、そして



「富嶽三十六景 神奈川沖浪裏」(The Great Wave)

10月からは、あべのハルカス美術館(大阪)で「北斎ー富士を超えてー」展が開かれ、大きな話題を呼んでいます。この二人は複雑な構成と重厚な物語性を備えた読本の成立期から完成期に掛けて手を組み、数多くの傑作を世に生み出しているのです。二人とも個性豊かで他を受け入れることが少なく、扱いにくい人物でしたが、互いにその力量を認めていました。他人を家に入れることがほとんどなかった馬琴ですが、北斎は1806年の数ヶ月間を馬琴宅に暮らしており、互いにその技量を見ながら切磋琢磨したことが推測されます。

今回展示する馬琴作、北斎絵の読本は、実は『芸術新潮』2016年12月号「大特集 北斎 画狂老人への道」で、「馬琴VS北斎 競い合い、高め合った読本狂時代」と題して、美術史家の辻惟雄先生(平成28年度文化功労者)を専修大学図書館にお迎えし、北斎の技量の変遷を辿る試みの為に選んだ作品群の中から、更に今回の展示に向けて精選したものです。専修大学の卒業生、そして在学生をはじめ、皆さんに楽しんでいただきたいと心から願っております。

◆専修大学図書館 秋の企画展「北斎と馬琴」開催

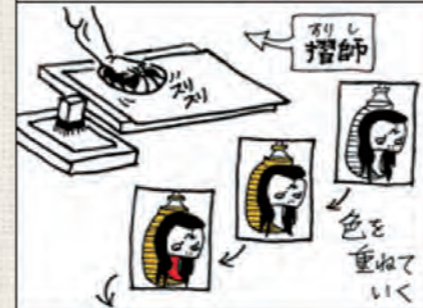
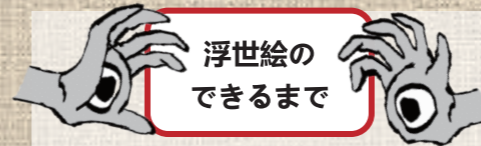
浮世絵師・葛飾北斎が挿絵を描いた読本の中から曲亭馬琴の作品を中心に、本学の一大戯作コレクション「向井信夫文庫」の資料を展示します。同時に、「水滸伝」や「八犬伝」といった馬琴ゆかりの作品をモチーフにした浮世絵も展示します。

「富嶽三十六景」が世に出る前の北斎と、『南総里見八犬伝』を生み出す前の馬琴。2人の才能が火花を散らした作品が並びます。

【開催日時】

生田キャンパス：図書館本館研修室(9号館3階)
2017年11月1日(水)～7日(火)
11:00～16:00(土日祝は10:00～15:00)

神田キャンパス：神田5号館ラーニング・コモンズ(アクティブラウンジB)
2017年11月25日(土)12:00～16:30
26日(日)11:00～15:00



↓こんな読み物もあるよ↓

『北斎 カラー版』大久保 純一 著
岩波書店 2012(岩波新書 新赤版 1369)
本館 X/081/I95V/1369
神田分館 X/081/I95V/1369

『もっと知りたい葛飾北斎 生涯と作品』
永田 生慈 監修 東京美術 2005(アート・ピギナース・コレクション)
生田分館 J/721/Mo95

『曲亭馬琴の世界 戯作とその周縁』
板坂 則子 著 笠間書院 2010
本館 K/913.5/I88
神田分館 /913.5/I88

『かわいい浮世絵』日野原 健司 著
東京美術 2017
本館 K/721/H61

専修大学図書館だより 第91号
発行日：2017年11月1日
編集・発行：専修大学図書館(館長 坂野 明子)
〒214-8580 神奈川県川崎市多摩区東三田 2-1-1
Tel.044-911-1274
URL: http://www.senshu-u.ac.jp/library/

--information--

●特別貸出の実施について

	冬 期	春 期
取 扱 期 間	平成29年12月5日(火)～ 12月25日(月)	H30年1月16日(火)～3月下旬まで ※取扱日の詳細はHPをご覧ください
返 却 期 限 日	平成30年1月15日(月)	※返却期限日の詳細はHPをご覧ください
貸 出 対 象 者	学部学生(聴講生、科目等履修生を含む)	学部学生(聴講生、科目等履修生を除く)
冊 数	10冊まで(通常の貸出冊数と同じ)	

●休日開館日程

実 施 館 本館(アクティブラーニング・プラザを除く)・神田分館

開 館 日 平成29年11月26日(日)
12月3日(日)、10日(日)、17日(日)、24日(日)、26日(火)
平成30年1月5日(金)、6日(土)、7日(日)、8日(月)

開館時間 10:00～17:00

●卒業年次生・大学院修了年次生の皆さんへ

***返却期限日は平成30年3月2日(金)です。**

図書を借りたまま卒業すると在校生が大変困ってしまいます。返却は郵送でも受付します。紛失等については図書館カウンターにご相談ください。

***卒業後も図書館を利用できます！**

図書館カウンターで手続きの上でご利用ください。継続して利用を希望する場合は、校友扱いで図書館利用カードを発行します。卒業後、図書館カウンターにお申し込みください。館外貸出は5冊、20日間まで。

●教員推薦図書の利用について

平成29年12月1日(金)から後期試験期間終了日までは、学部後期試験にともない学部学生対象教員推薦図書(本館・神田分館)の特別貸出を停止します。館内でご利用ください。

スマートフォン版 OPAC QRコード



スマホでの検索に最適化された画面で、蔵書検索・予約申込(貸出中資料の予約、他館からの取り寄せ)の利用ができます。ご自分のスマホからお気軽にご利用ください。

▶図書館ボランティア レポート◀

昨年から活動を始めた図書館ボランティアのメンバーが、様々なイベントをご紹介します。今回は7月3日(月)～7日(金)に本館で行われた第1回情報検索講習会についてお伝えします！講習会はAコース(雑誌・新聞記事検索)とBコース(企業情報検索)の2コース。ボランティアはパソコン操作や資料配布等 図書館員のサポートを行いました。参加者の感想をまとめましたのでご覧ください。

Aコース

論文検索や新聞記事の閲覧方法を詳細に教わり、本学に所蔵されていない書物を閲覧できることも知り、今まで以上に図書館を利用していきなりたいと思った。(文1年)

説明を聞くだけではなく、スクリーンを見ながら手元にあるパソコンで自分で操作することで、より理解を深めることができました。またデータベースの紹介だけではなく、論文の探し方や参考文献の書き方についても、実践を含めた丁寧な説明があり、期末試験のレポート作成に活用したいと思った。(文1年)

Bコース

今まで利用したことなかった日経テレコンやeolなどの利便性を知ることができてよかった。今後の就職活動では、これまで利用していたものと合わせて、より深く企業・業界研究をしていきたい。(人科3年)

今回参加したことで、どのデータベースを利用して情報収集をすれば良いのかがわかった。また、レポートや就職活動だけでなく日常的な疑問の解決にも役立つと思った。(文2年)

次回開催予定

神田分館 11月6日(月)～10(金) ①12:20～12:50 ②17:00～17:30
今年度の本館での開催は終了しましたが、来年度も開催予定です。詳細は図書館HPに掲載しますので要チェック！

